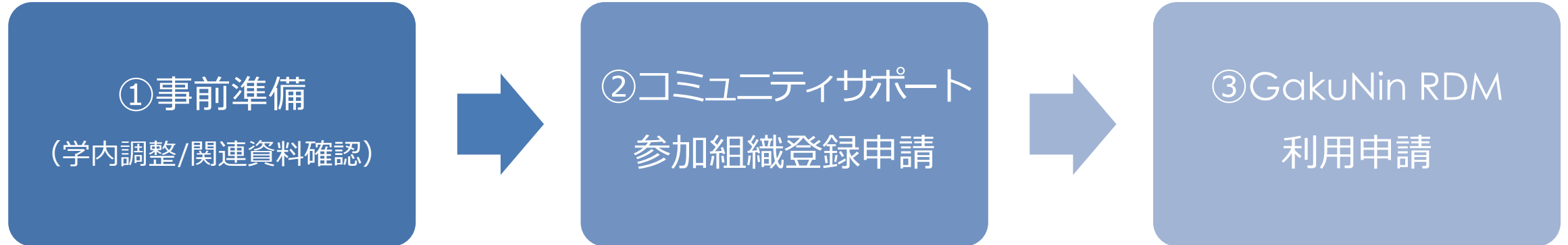


GakuNin RDMサービス利用申請について

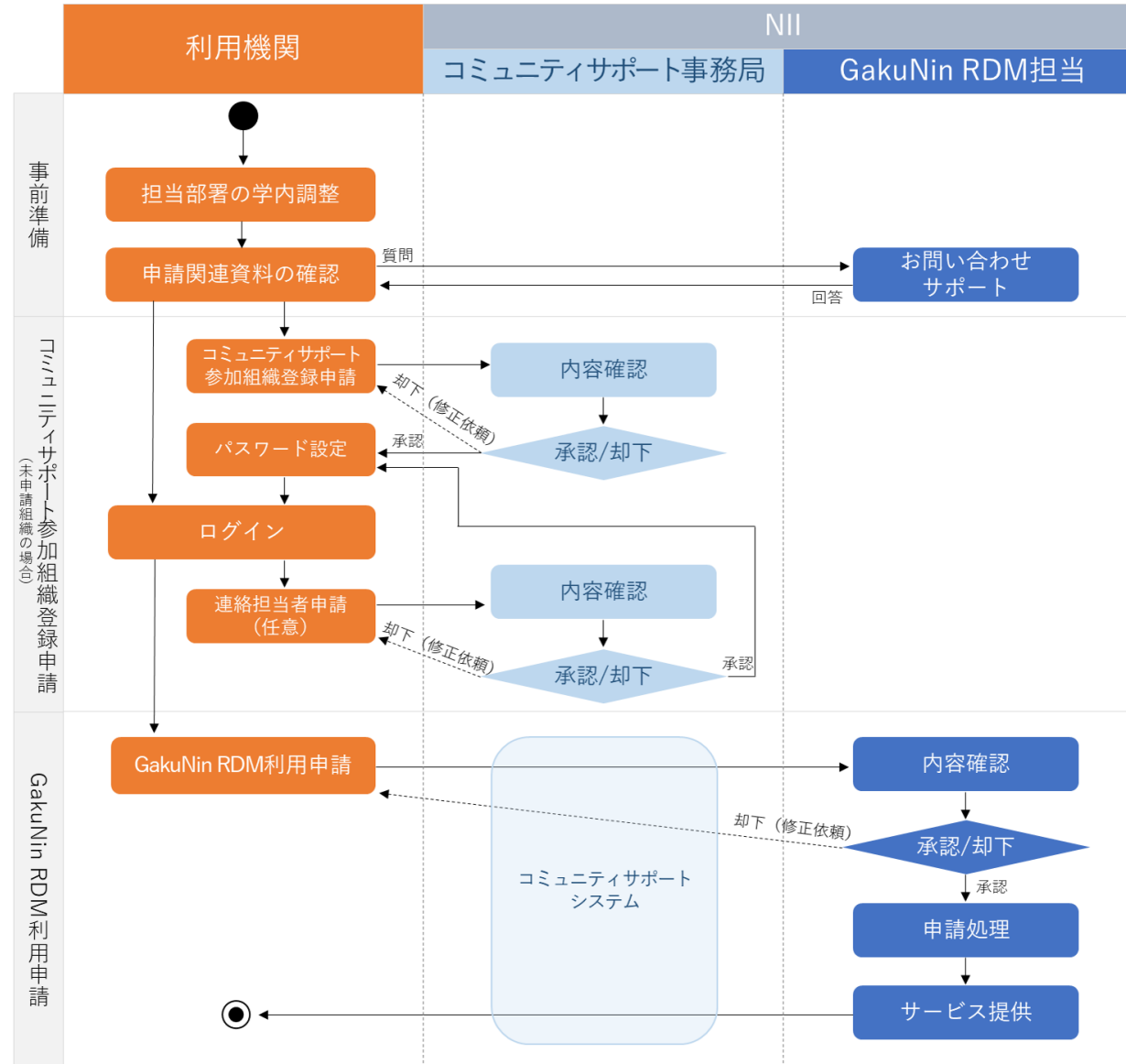
2024.6.11

佐藤 知生 (国立情報学研究所 研究データ基盤整備チーム)

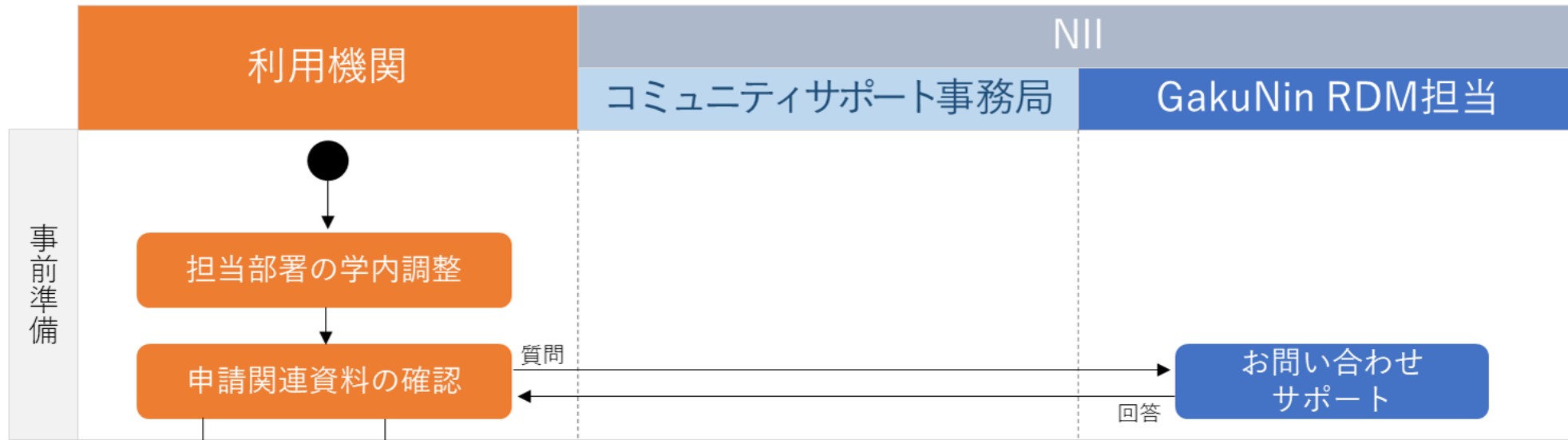




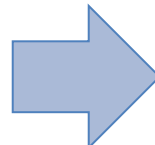
GakuNin RDM申請の全体像



①事前準備

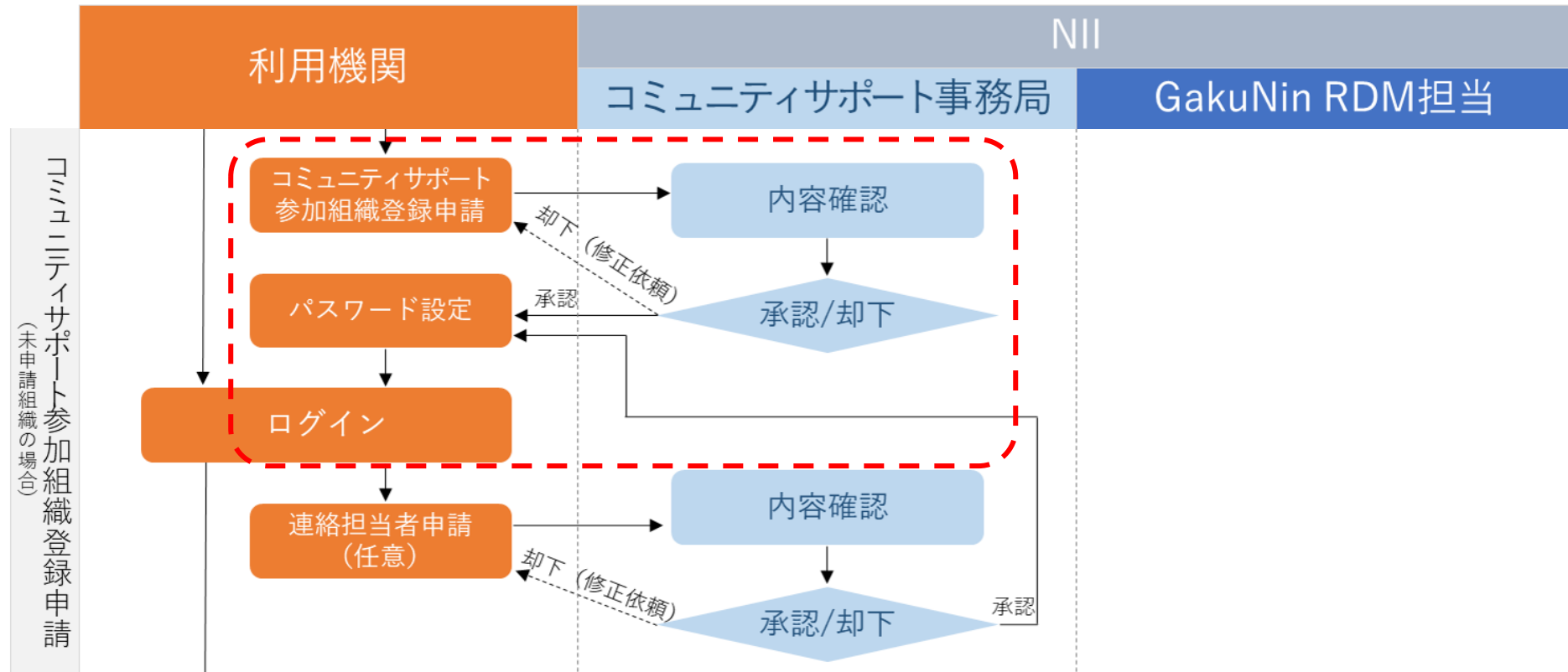


① サポートポータルとは

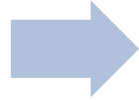


<https://support.rdm.nii.ac.jp/>

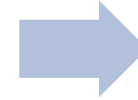
②コミュニティサポート登録から利用申請まで



①事前準備



②コミュニティサポート参加組織登録



③GakuNin RDM利用申請

- GakuNin RDMやその他サービスの利用申請等を受け付けるシステム
- 申請を担当する部局/部署レベル（参加組織）で登録
 - 参加組織の例：図書館、情報センター、研究科等
 - 1機関で複数の参加組織を登録することが可能
 - サービスを利用する「利用範囲」（p.12参照）は別途指定

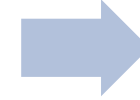


②コミュニティサポート参加組織登録のポイント

①事前準備



②コミュニティサポート参加組織登録



③GakuNin RDM利用申請

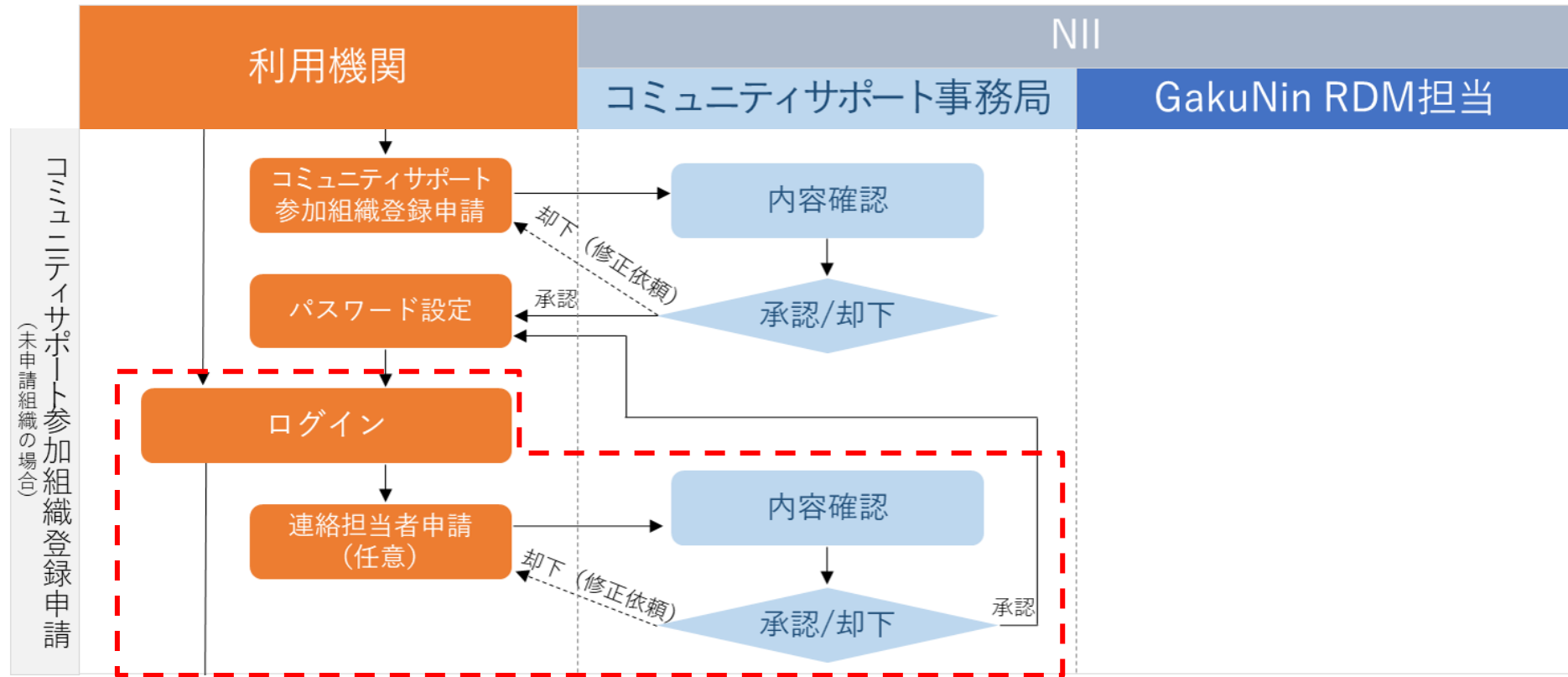
参加組織情報

機関情報をコピーする

*参加組織名	A大学情報推進センター
*参加組織名（欧文）	A University IT Center
*参加組織名（ヨミ）	Aダイガクジョウホウスイシンセンター
*郵便番号	101-XXXX
*住所	東京都千代田区〇〇〇
*参加組織代表者氏名	情報太郎
*参加組織代表者職名	情報推進センター長

参加組織名は、申請を管理する単位（部局・部署）で申請をお願いいたします。
「情報推進センター」だけでは申請できませんので、機関名を含めて入力してください。
（例：A大学情報推進センター）

②コミュニティサポート登録から利用申請まで



コミュニティサポート参加組織登録で「責任者」のアカウントが発行されますが、新たに「担当者」の申請を行うことが可能

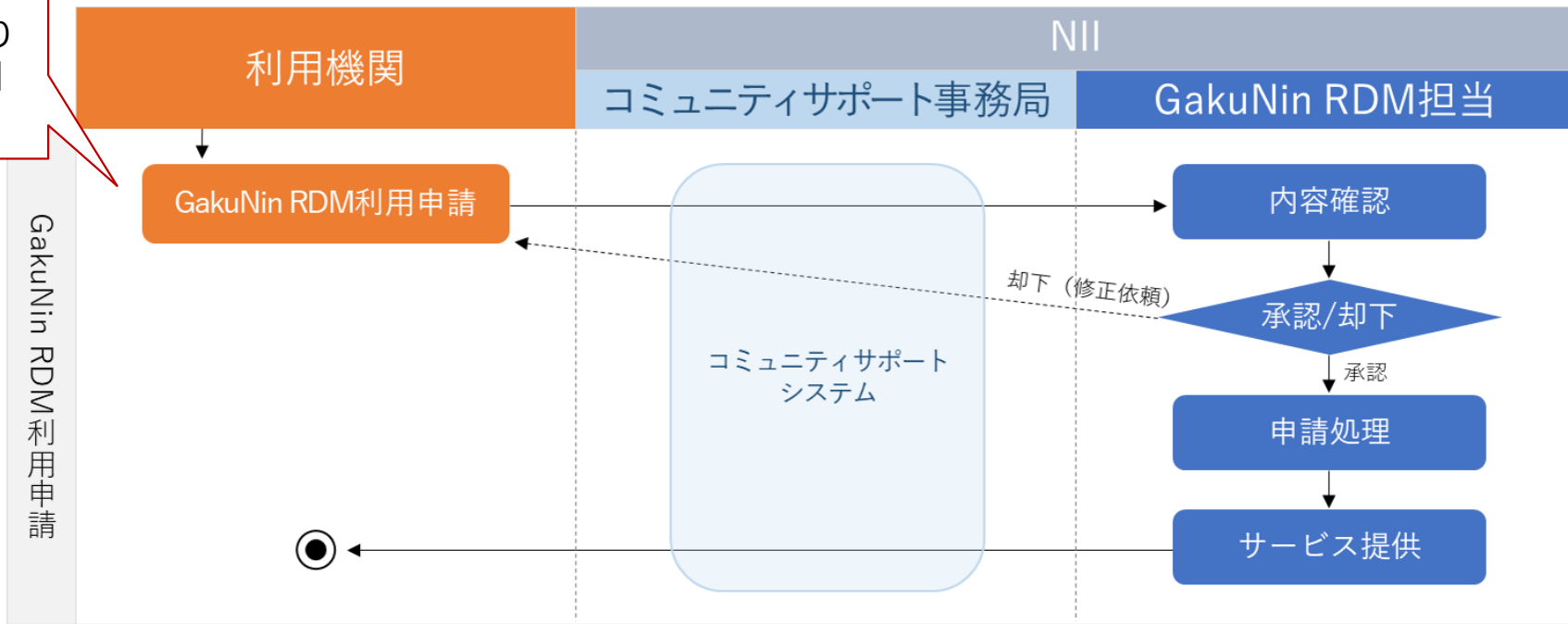
- 責任者： 1参加組織に1つだけ発行される管理者アカウント
 - 「担当者」の申請が可能
 - 「責任者」が「担当者」を兼ねることが可能
 - 担当者： 1参加組織に複数発行することができるアカウント
 - 割り当てられたサービス（※）に対する申請・変更の権限を持つ
- ※コミュニティサポートでは1つの参加組織でGakuNin RDM以外のサービス（JAIRO Cloud、学認LMSなど）も申請できる



③ GakuNin RDMサービス利用申請の概要



「責任者」もしくは GakuNin RDMに割り当てられた「担当者」が申請を行います。



※申請は月ごとにとりまとめ翌月に環境を提供

*利用範囲	全学
*代表者氏名	情報総一郎
*代表者職名	学長
*利用資格	1. 大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関等 ▼
*利用者数	100

「利用範囲」は、申請によって、GakuNin RDMが利用可能になる対象者の範囲を指します（機関の構成員全体、特定の部局の所属者のみ、など）。

例：
「全学」「附属図書館」「〇〇研究科」など

「代表者氏名」と「代表者職名」は利用範囲の長の情報を入力してください。

「代表者職名」の例：

- 利用範囲「全学」 → 「学長」
- 利用範囲「〇〇研究科」 → 「〇〇研究科長」
- 利用範囲「情報センター」 → 「情報センター長」

オプション機能

選択可能	選択済み
	▶ データ解析機能

要申請のオプション機能もGakuNin RDMの利用申請時にあわせて申請可能。
(GakuNin RDM利用開始後に申し込む場合は、「変更申請」で利用申請が必要)

- 利用申請方法についてGakuNin RDM サポートポータルをご覧ください。

GakuNin RDM サポートポータル



<https://support.rdm.nii.ac.jp>

- 申請いただいた情報に変更が生じた場合、コミュニティサポートから変更申請をお願いします。

ご不明な点はいつでもお気軽にご相談ください

GakuNin RDM担当（国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課）

rdm_support@nii.ac.jp